

# 市民建産常任委員会報告書

令和元年 12 月 3 日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和元年 10 月 31 日、11 月 5 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 市民部

### 収納管理課

収納管理係より、平成 31 年度市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の 9 月末日現在の収納状況について報告がありました。平成 31 年度滞納処分状況については、4 月から 9 月までの差押え件数 394 件、ファイナンシャルプランナー相談 38 件（34 人）・税充当金額 1,839 万 1,535 円、弁護士相談 0 件、搜索件数 4 件・現金差押え 4 件（7,649 円）・動産差押え 4 件（27 品）、インターネット公売・期間入札会各 1 回実施等の報告がありました。

委員から、差押えに至る前の段階を重視していただけたら、との意見に、督促状送付後、年 2 回程度、催告書も送付している。催告書には、収納管理課が相談窓口である旨の記載をする他、広報こがにファイナンシャルプランナーの説明記事を掲載し、周知しているとのこと。

## 市税課

市民税係より、例年 11 月に行われる「税を考える週間」において、2019 年度「税に関する高校生の作文」で、東福岡県税事務所長賞を古賀竟成館高校の生徒 1 名が、古賀市長賞を玄界高校の生徒 1 名が受賞したとの報告がありました。

その他として、本年 7 月に開催された市民建産常任委員会において提出された資料の内、「市税【調定・収入】の推移」について、資料の再提出がありました。再提出の理由としては、個人市民税や法人市民税、固定資産税など、各税を合計した総額が、積上げ時に一部 1,000 円未満の切上げや切捨てにより、ばらつきがあったことから、各税 1,000 円未満を四捨五入し、統一した結果、1,000 円から 4,000 円の変更が生じたことによるもの。来年度以降、同資料を提出する際には、同様の積上げにて作成するとの説明がありました。

委員より、10 月に提出された中期財政見通しについて、令和 4 年度の市税がピークで 70 億 200 万円となっている、その後、令和 6 年度には、69 億 7,800 万円に減少しているがその要因は、との問いに、令和 5 年度にたばこ税の税額の上昇が収まり、一部減少が生じるためとのこと。

## 市民国保課

市民係より、令和元年 9 月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カードの交付枚数とコンビニ交付サービスの利用実績、証明書の交付部数について報告がありました。

国保係より、令和元年 9 月末の国民健康保険加入世帯数、被保険者数について報告がありました。

年金・医療係より、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障害者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数について報告がありました。

**委員より**、一時期、国の個人番号カードの推進計画において、個人番号カードに健康保険証やクレジットカードの機能を取り入れようという話があったが、何か情報はるか、との問いに、国の予定では、令和4年度中には、ほとんどの医療機関でマイナンバーカードを使って、受付等ができるような状況にしたい、という情報はきているとのこと。

後期高齢者の医療費の動向は、との問いに、古賀市の後期高齢者の1人当たり医療費においては、金額的には少ないが、毎年少しずつ減少している状況とのこと。

## 人権センター

**人権教育・啓発係より**、人権教育・啓発事業として人権尊重週間の取組、まちづくり出前講座について、人権相談事業として人権擁護委員活動支援、人権センターでの人権相談件数について、人権関係団体活動推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会委託事業について報告がありました。

**委員より**、そうだん5、人権センターへの人権相談件数が例年に比べて少ないがその背景は、との問いに、担当課との認識は異なるが、人権擁護委員からは行事予定表が変わり、相談日が分かりづらくなったとの指摘がある。今後、街頭啓発等の周知方法を考えていきたいとのこと。

予算編成方針において、市民生活を支える基盤の整備として、多文化共生の推進や性的マイノリティーのパートナー関係尊重の取組等が盛り込まれているが、本件は人権センターが担当するのか、との問いに、人権等に関する部分は人権センターが担当するが、国際交流に関しては経営企画課が担当するとのこと。

## 環境課

**環境整備係より**、地球温暖化対策に関する取組について、飼い主のいない猫の取組について報告がありました。生物多様性古賀戦略の推進については、タイトルを「つなげたい！古賀の生命 伝えたい！共に生きる力 生物多様性古賀戦略」と題し、4章による構成とし、多様な主体との協働を推進するためにわかりやすく親しみやすい内容にするという基本的な考え方に立ち、全体的に親しみやすく、わかりやすい表現を心がけたこと、また、「自然の恵みに感謝し、次世代へ引き継ぐ 自然と共に育つまち」という戦略でめざす古賀の将来像の実現に向けて、関連する取組を今後推進していきたいとの報告がありました。

**資源循環推進係より**、3Rに関する取組について、環境展について、資源化率の向上について報告がありました。

**海津木苑より**、海津木苑処理状況について、海津木苑整備工事について、海津木苑施設等啓発について報告がありました。次期し尿処理施設については、次期施設の汚泥再生処理センター整備事業の古賀市単独及び福津市との広域処理を行った場合の財政シミュレーション試算として、令和24年度までの20年間の支払総額が古賀市単独で処理を行った場合、建設費・維持管理費を含め、約30億2,800万円、福津市との広域処理を行った場合、建設費・維持管理費を含め、約40億3,100万円となり、分担率を5割と仮定した場合、古賀市の支払総額が約20億1,500万円となることから、福津市との広域処理を行うことにより、約10億円の費用削減効果が見込まれるとの報告がありました。

**委員より**、海津木苑について現在の処理施設を稼働しながら建設することになると思うが、今後のスケジュールは、との問いに、今年度と来年度に環境アセスをし、来年度に設計、令和3年・4年の2年間に建設、令和5年から供用開始予定とのこと。

## 建設産業部

所管事務調査の冒頭、建設産業部長より、観光・物産・情報発信の拠点形成プロジェクトチーム（以下、PT）を立ち上げたこと、PTの構成は、市長をトップに両副市長、建設産業部長、農林振興課、商工政策課、都市計画課とし、事務局は都市計画課が担うとの報告がありました。

### 都市計画課

**都市計画係より**、福岡広域都市計画玄望園地区地区計画の変更については、7月26日に変更の告示がなされたこと、土地区画整理事業の進捗状況について報告がありました。都市計画マスタープランの改訂については、改訂により変更される部分を中心に説明があり、今後、パブリック・コメントや古賀市都市計画審議会などを経て、今年度中の完成をめざしているとの報告がありました。

**開発指導係より**、屋外広告物のガイドラインについて、町川原1区区域指定について、古賀市の空き家率について報告がありました。

**公園・緑地係より**、公園工事発注状況について、市内公園遊具点検業務委託について、千鳥ヶ池公園桜の植え替えについて、市内運動施設の使用料及び減免基準の見直しについて報告がありました。

**古賀駅周辺開発室開発推進係より**、ウォーカーブル推進都市については、概要の説明、ニビシ醤油株式会社との協力協定については、内容や協定締結式、記者発表等について報告がありました。

**その他として**、町名設定にかかる議案提出について報告がありました。観光・物産・情報発信の拠点形成PTについては、組織構成や目的、都市計画課、農林振興課、商工政策課における役割について報告がありました。

**委員より**、都市計画マスタープラン改訂案の古賀駅東口について、商業系用途地域への変更による商機能の集積や駅前広場の整備等により、若干の方向性は示されていると思うが、駅前の再開発ということで、特に山側から海側、東西のアクセス道路の大胆な整備が必須ではないか、との問いに、古賀駅周辺については、ウォーカーブル推進ということで人が歩きやすい、歩いて集いやすいということを含め、道路整備の考え方を検討しているとのこと。

都市計画マスタープラン改訂案の土地利用の転換について、秩序ある土地利用と言えるのか、との問いに、対象地については、隣接する土地の用途を踏まえて選定しているとのこと。

ニビシ醤油株式会社との協力協定に関して、区域をもっと広く検討する必要があるのではないかと、との問いに、区域を広く検討し、なかなか前に進まなかったという実情があるため、今回については、できる場所に少しプラスアルファというふうに考えているとのこと。

空き家率に関して、これからの対策は、との問いに、空き家の位置をしっかりと把握するための取組を検討していくとのこと。

観光・物産・情報発信の拠点形成PTに関して、民間活力を生かすために企業を誘致するのは行政が主体となって行うのか、との問いに、土地の売買に関しては地権者の意向があることから、地権者と進出企業のマッチングをイメージしているとのこと。

## 建設課

**土木係より**、主要な事業の進捗について、西鉄宮地岳線跡地について報告がありました。

**管理係より**、県事業で工事内容が100万円以上の事業10カ所について報告がありました。

**地籍調査係より**、地籍調査事業の進捗について報告がありました。

**その他として**、台風17号の被害状況について報告がありました。

委員より、西鉄宮地岳線跡地について、地元との協議を大切にすることは十分にわかるが結論を出す時期にきており、いつまでに解決するという方針を持って取り組むべきと思うが、との問いに、今後も関係行政区で説明会を開催することとしており、そこで出された意見を基に詳細設計に移っていきたいと考えているとのこと。

大根川堤防沿いの桜が伐採された経緯は、との問いに、桜の伐採については、6月に市民から通報があり、木に空洞ができており、危険ではないかとの連絡があった。また、7月に隣接地から、枝が越境し、車に当たるため、対応して欲しい旨の要望があり、行政区からも要望書が提出され、最終的に全本伐採したとのこと。

## 上下水道課

総務・上水道管理係より、企業会計職員研修会の開催について、第1回上下水道事業経営等審議会について報告がありました。

上水道係より、平成31年度の工事箇所について、日平均配水量について報告がありました。

下水道係より、平成31年度の工事箇所について報告がありました。

委員より、今年は、渇水の時期が非常に厳しい状況だったということだが、北九州市からの用水を増やして対応することも考えられたのか、との問いに、渇水が続いても河川水は安定的に取れる状況であったが、ダムと井戸からの水が取れず、また、農繁期であったこともあり、渇水への備えとして北九州市と協議し、3,000トンの受水枠を3,500トンまでとする契約変更を行ったとのこと。

美明調整池のため池で油が浮いており、そのような水が流れる経路の調査とその原因究明について取り組んでほしい、との意見に、美明調整池の油等の流入については、上下水道課として水路の経路等も含め、原因究明の調査を進めている。現段階ではまだ原因箇所の特定には至っていないが、引き続き、調査を継続していくとのこと。

## 農林振興課

農林振興係より、有害鳥獣対策事業について、松くい虫防除事業について、荒廃森林整備事業について報告がありました。

農政係より、農業振興地域整備計画の策定について、農業次世代人材投資事業について、人・農地プラン実質化の取組について報告がありました。

農林土木係より、農業用施設改良事業について、薦野清滝地区基盤整備事業について、報告がありました。

その他として、「台風8号」、「令和元年8月の前線に伴う大雨」、「台風17号」の被害状況報告について、まつり古賀への出店について、農家直売！軽トラ市の開催について報告がありました。

委員より、今後のPTにおいて、コスモス館の改革はどのように進める予定なのか、ハード面の整備とは、どのようなことを計画していくのか、との問いに、コスモス広場利用組合は、組合が主体的に運営しており、行政として支援できる場所として、農業の振興、農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加など多くの課題を少しずつ解決することにより、農業者が農作業のできやすい環境をつくり、販売数量やコスモス広場利用組合の会員数の増加を期待している。古賀市の農業を活性化し、よりよいものにしていくために、十分話し合いを進めながら取り組んでいくとのこと。

農業次世代人材投資事業について、今年度、対象者が新規2名ということだがその内容は、との問いに、今年度に入り、新規就農者が2名おり、今年度中に本事業の適用を受けたいという要

望があり、年度末に向けて進めているとのこと。

## 商工政策課

**企業支援係**より、無料職業紹介所について、玄望園地区開発について、日本オープンゴルフ選手権について報告がありました。

**商業観光係**より、消費生活センターの相談受付状況について、第 35 回まつり古賀の開催について報告がありました。

**物産振興係**より、古賀市ふるさと応援寄附について報告がありました。

**その他**として、市長より道の駅を整備しないとの方針が示されたことに伴い、令和元年 12 月議会において、道の駅関連事業費の全額 3,660 万 4,000 円を減額補正する予定との報告がありました。

**委員**より、新規企業求人件数と求人者数が 630 件、1,112 人だが、この中で、正社員と正社員以外の方の割合、また、求人に該当された方で、40 歳以上の方や 70 歳以降の方も見られるがその傾向は、との問いに、630 件の内、正社員の申込み件数が 198 件、正社員以外が 432 件となっている。また、新規の求人者数について、近年、高齢者の利用が増加しており、40 代の女性や高齢者の方々は、正社員よりパート等を希望する方が多いと聞いているとのこと。

今回の日本オープンゴルフ選手権では、古賀中学校 2 年生による清掃奉仕において、練習場の中に入り、直にプロのゴルフ選手と触れ合うことができ、非常に感謝されている。ゴルフ場内の飲食ブースも盛況で、コスモス館や工業団地の直売所の PR にも取り組んでいただいた。NHK の放送においても福岡県古賀市と何回も言われていた。日本オープンゴルフ選手権を通じて、古賀市の活性化につながったとの思いがあるが、どのように評価されているか、との問いに、日本オープンゴルフ選手権を通じて、全国に古賀市をアピールすることができたと思っている。古賀ゴルフ・クラブと担当職員が何度も現地で協議を進め、古賀市をアピールするという意味でも、古賀ゴルフ・クラブの皆様が一緒になって取り組んでいただいたことは、大きな財産になったと考えている。これからもこのような場を捉えて、古賀市の PR に注力したいとのこと。

今年度のふるさと応援寄附の見込みは、との問いに、前年度並みの金額を目標として考えているとのこと。

また、市民建産常任委員会では、10 月 10 日に兵庫県伊丹市へ、生物多様性いたみ戦略の推進～小学校生物多様性副読本の活用～について、同 11 日に京都府亀岡市へ、かめおかプラスチックごみゼロ宣言についての行政視察を行っております。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。